

平成24年4月8日
今週のベストショット



雁レクE 奈多サンデーズ 対 三苦フレンズ
一回表ワイルドピッチを突いてホームインする奈多サンデーズ八島久徳選手。
(写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)

奈多グラウンド

雁ノ巣ライナーズ (2勝0敗) 5 0 0 7 0 12 樽野○、有馬一奥原
奈多クラブ (0勝2敗) 0 0 0 3 0 3 赤沢●、吉田一高瀬、赤沢
3BH：奥原(雁ノ巣) 今林祐将(奈多ク) 2BH：三宅×2、久保田(雁ノ巣) 今林龍夫(奈多ク)

ライナーズは初回、5番奥原選手の三塁打や8番三宅選手の二塁打などで幸先良く5点を先制し、先発樽野投手は、三回までパーフェクトピッチングを見せる。四回にも8番三宅選手の二塁打を皮切りに7点を挙げるビッグイニングで一気に突き放しにかかるも、その裏、奈多クラブも意地を見せ3点を返すが反撃もここまで。ライナーズは開幕2連勝。一方の奈多クラブは2連敗となった。戦力補強により安定した試合運びをしたライナーズが優勝候補か(?) (記事・写真：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘)



開幕2連勝ライナーズ先発樽野投手。



三塁打を放ったライナーズ奥原選手。



奈多クラブ先発の赤沢大輔投手。



赤沢投手をリリーフした奈多クラブ吉田投手。

青松園A

三苦ホーネッツ (2勝0敗) 2 6 4 3 1 16 井手○、矢野一谷山

ブルーマーリンズ (0勝1敗) 0 0 0 0 0 0 林●一尾田

3BH: 永島 (三苦ホ) 2BH: 三浦 (三苦ホ) 黒田 (ブルー)

序盤からホーネッツは単打や長打、盗塁に加え、相手のエラーを誘うバッティングで着実に得点を重ねていった。一方のブルーマーリンズは、ホーネッツの投手陣を前に反撃の糸口をつかめず、ヒット2本に止まってしまった。抜け目無い攻撃、走塁、守備を揃えた優勝候補ホーネッツの強さをまざまざと見せつけられた一戦だった。(記事: 新町パイレーツ 安部貴大、写真: 大野康昭)



初回からホーネッツの機動力が牙を剥く。



一回裏、Bマーリンズ尾田選手の内野安打。



三回表ホーネッツ塚選手のタイムリー。



Bマーリンズ林拓未投手。

青松園B

三友クラブ (0勝2敗) 0 0 0 0 0 0 0 0 足達●—小島
奈多フェニックス (2勝0敗) 1 3 0 1 2 × 7 池見○—定延 (新)
HR: 西藤 (奈多フ) 3BH: 松尾 (三友ク)

初回、奈多フェニックスの攻撃は、制球がやや定まらない足達投手から、二つの四球を選び何とか1点を先制すると、二回の攻撃は内野手の連続エラーから、さらに連続単打と四球を絡めて3点を追加し、試合の主導権を握った。一方の三友クラブは、三回まで池見投手に三者凡退に押さえられていたが、四回の攻撃は、打順良く1番の森野選手の放った打球は三塁手強襲の痛烈なライナーを、この日主役のフェニックス西藤三塁手がなんなく捌き、二番八尋選手もセカンドゴロに倒れ、またもや三者凡退に終わるのかと思われたが、3番松尾選手が放った打球は、誰もがライトオーバーのホームランかと思っていたが、そう簡単には問屋は卸さなかった。奈多フェニックスの見事な中継プレーで、本塁前でまさかの憤死を喫してしまった。その後、奈多フェニックスは、着実に追加点を重ね、五回には1番西藤選手の唯一の2点本塁打により、試合は決した。

(記事、写真: 和白新町パイレーツ 石橋登)



三友クラブ松尾選手をホーム直前でタッチアウト。



HRを放ったフェニックス西藤圭介選手。

雁レクD

三苦三球会 (1勝1分) 0 0 0 0 0 0 2 2 吉留△—藤沢
新町ウインズ (1敗1分) 1 0 0 0 1 0 0 2 早田△—今林
HR: 桐島 (新町ウ)

初回、先攻の三球会は先頭小倉選手がセンター前へヒットを放ち、送りバントで二進、WPで三進し絶好の先制期を迎えたものの、後続が決定打を放つことができず無得点に終わった。一方のウインズは、こちらも先頭の桐島選手がライト線へ弾き返すと快足を生かし一気に生還、見事な先頭打者本塁打で先制した。そのあとは快調に三振を奪う三球会の吉留投手、緩急をつけ打たせて取るウインズ早田投手の投手戦の様相を呈していたが、五回、四球とWPからついにウインズが追加点を上げることに成功し、ほぼ試合の行く末が決定したかに思われた。しかし試合を諦めない三球会は最終七回、先頭の永吉選手がセンターへヒット、続く浜口選手もライトへ連打、敵失を絡め、まず1点を返す。その後、一死満塁の緊迫した状況から、1番の小倉選手のセンター犠牲フライで濱口選手が生還し、土壇場ですべて同点に追いついた。その裏、ウインズも田坂選手のバント安打等で勝利への執念を見せたが、最後は吉留投手の力投の前に追加点を上げることができなかった。今年の雁レク初試合は、フルイニングの見ごたえのある投手戦で引き分けに終わった。

(記事 塩浜ジャガーズ: 高嶺信彦、写真: 松下照夫)



初回先頭打者本塁打の桐島司選手。



威圧感タップリ、巨漢野中選手の送りバント。



左中間安打を放った三球会小倉選手を二塁タッチアウト。



三球会山崎監督がタイムを取り、的確な指示で失点を防ぐ。



浜口選手、タッチアップから執念の同点へ。



七回2失点7奪三振の好投を見せた吉留投手。

雁レクE

奈多サンデーズ (2勝0敗) 3 0 2 5 3 1 3 江口○、塚本、田中(俊) - 荒口

三苦フレンズ (0勝1敗) 0 0 0 0 0 0 塔本●、井上一溝之上

HR: 八島、田中(俊) (奈多サ)

初回フレンズ塔本投手は制球が定まらず4つの四球とワイルドピッチによりノーヒットで難なく2点を与えてしまう。さらにサンデーズは7番荒口選手のレフト前ヒットで1点を加え3-0とし、初回から試合の主導権を握った。二回こそ無得点に終わったものの、相手のミスに乗り二死からでも連打で点を重ねる強打のサンデーズは3番田中(俊)、4番八島選手のホームランも飛び出し四回ですでに10点差、また3人の投手もフレンズ打線を完全に封じ、昨年の覇者らしいコールド勝ちであった。フレンズは守備の乱れが点差を大きくしてしまった。(記事、写真: ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



初回から果敢に走るサンデーズ八島選手。



飛びつくが惜しくも届かずサンデーズ吉岐遊撃手。



堅固な守りでサンデーズを支える荒口捕手。



四回表ホームインするサンデーズ吉岐選手。



五回表ダッシュも実らずフレンズ生野一塁手。



球が速くなった？サンデーズ江口投手の力投。



力投も実らずフレンズ先発の塔本投手。



フレンズ往年のエース井上投手登場。

第2週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

4月8日は5試合が行われました。

奈多グラウンドのライナーズ対奈多クラブ戦は、ライナーズが初回と四回に四球と安打を効率的に絡めて大量点を挙げ12-3で勝ちました。樽野投手も6奪三振を挙げ2勝目。一方奈多クラブは、投手陣が11四死球と大崩壊。唯一得点した四回裏は、5安打を集中させ3点を奪い、なお一死二三塁でしたが、連続三振に打ち取られました。ここぞという場面で三振が取れる投手がいると、守っている方は楽ですよ。

青松園Aのホーネッツ対Bマーリンズ戦は、12安打7盗塁毎回得点の12-0でホーネッツがコールド勝ちしました。1~9番まで4打席回ったホーネッツに対し、2安打に押さえ込まれたBマーリンズの9番打者林選手は1打席しか回って来ず、昨季のBマーリンズは規定打席到達者が2人しか居なかったという現状が浮き彫りになる試合でした。

青松園Bの三友クラブ対奈多フェニックス戦は、昨季の最多勝フェニックス池見投手対奪三振王三友クラブ足達投手の投げ合いでしたが、両投手の立ち上がりが明暗を分けましたね。三回まで4奪三振パーフェクトの池見投手に対し、二回で5安打4四球の足達投手では7-0と結果は歴然でした。ただし、足立投手も後半の三回で7奪三振と意地を見せました。

雁レクDの三球会对ウインズ戦は、昨季準優勝の三球会が早くも引き分けるという波乱が起きました。一回表の一死三塁のチャンスを棒に降った三球会に対し、その裏ウインズは1番桐島司選手のHRで得点すると、あとは投手戦。五回裏にノーヒットで得点し2-0としたウインズの勝利は目前でした。しかし、三球会も意地を見せ、最終回に連続安打から2点を挙げ辛くも2-2の引き分けに。ウインズは金星を取り損ねましたね。

雁レクEの奈多サンデー対フレンズ戦は、サンデーが11安打2HR完封で13-0のコールド勝ち。投げて江口→塚本→田中(俊)の3投手完封リレー。昨季HR王の田中俊弘選手は開幕から二戦連発。5番19歳の野々下利生久選手が3打数3安打と調子が出てきました。昨季最終戦で一塁ベースを駆け抜けて転倒した田中孝幹監督も初安打をマークし大量点に花を添えました。フレンズは先発サウスポー塔野投手が初回4四球とWP等で1安打ながら3点を与えてしまったのが全て。

さて、今週は四球から崩れるというパターンが多いと感じました。特に打線が強いチームに対して出す不容易な四球は大量点につながります。打ち取ろうと力が入るのかもしれませんが……。試合展開のスピードアップ化、よりハイレベルな勝負のためにも1つでも四球が減ることを望みます。

4月15日は、4試合です。

	一塁側		三塁側		審判
青松園A	Sベ이스ターズ	VS	Bマーリンズ		奈多クラブ
青松園B	新町パイレーツ	VS	三苦フレンズ		奈多サンデー
奈多グラ	三友クラブ	VS	三苦ホーネッツ		奈多フェニックス
雁レクB	塩浜ジャガーズ	VS	レッドサンデー		雁ノ巣ライナーズ
	(支払い)				

4月22日(日)は、中学生大会のため全試合がお休みになります。